

令和元年度
第1回 新潟市北区郷土博物館協議会

資料2



令和元年 10 月 25 日
新潟市北区郷土博物館

○令和元年度 前期事業報告

<u>I 特色ある区づくり事業（郷土芸能伝承支援事業）</u>	1
<u>II 展示活動</u>	1
1 常設展示 「阿賀北の大地と人々の暮らし」（考古・歴史・民俗・芸術（書））	
2 企画展	
<u>III 普及事業（講座・教室、レファレンス等）</u>	7
1 夏休み はくぶつかん体験コーナー	
2 ふるさと学習	
3 レファレンス	
4 刊行物の販売	
<u>IV 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）活動</u>	9
1 市民ガイド研修	
2 市民ガイドの活動実績（R1. 4/1～9/30）	
<u>V 他機関・他施設の事業および調査研究への協力</u>	10
1 博物館実習、体験学習等受け入れ	
2 講師派遣等	
3 その他の事業協力	
<u>VI 所蔵資料調査研究・保存</u>	12
<u>VII 北区の文化財保護事業（指定文化財ほか）</u>	12
○令和元年度入館状況、月別入館者数調べ（本館のみ）	14
○令和元年度 後期事業計画	16

注：この協議会資料で「入館者数」とあるのは、その期間中の入館者数です。特定の企画展関連事業などに参加した人数は「参加者」として記載しました。

○令和元年度 前期事業報告

I 特色ある区づくり事業（郷土芸能伝承支援事業）

（1）郷土芸能伝承支援のために郷土芸能記録をデジタル化

北区内の地域の秋まつりで舞われた神楽・獅子舞の動画記録

（2）市指定無形民俗文化財郷土芸能記録のデジタル化

指定文化財記録のデジタル化の準備作業

（3）北区の郷土芸能伝承支援として地域のまつりの情報発信

- ・北区の春まつりの実施状況を博物館ホームページに掲載
- ・「北区役所だより（8月4日号）」に秋まつりの実施日時と場所を載せて情報発信（同様の内容を博物館ホームページに掲載）
- ・博物館ホームページに「神楽マップ」を掲載（場所や由来などを紹介）
- ・北区公式フェイスブックに秋まつりを情報発信（地域総務課とともに）

II 展示活動

1 常設展示 「阿賀北の大地と人々の暮らし」（考古・歴史・民俗・芸術（書））

2 企画展

（1）常設展拡大企画「昭和の暮らし展 - 「着る」にまつわる道具たち」

常設展示の一つのテーマを掘り下げて展示する企画展。北区内小学校3年生社会科「昔の道具と暮らし」の学習に対応するため、平成28年度から開催。

今回のテーマは「着る」にまつわる道具たち。約60年前までに使われていた衣類にかかわる昔の道具（民俗資料）や写真の展示を通して、北区の昔の暮らしの一端を紹介するとともに、現代とは違い、物が少なかった時代の人々の知恵や工夫を紹介。

- ・会期 H31.1/4(金)～R元.5/19(日)
- ・入館者数 2,692人
- ・会場 ホール
- ・展示点数 68点（実物資料・写真）
- ・ポスター／チラシ A2・カラー／A4・片面カラー
- ・リーフレット A4 4頁・モノクロ
- ・会期中の催し
 - ・手織り体験と葛塚縞手織り機の実演（協力 葛塚縞手織りの会）
4/6（土）、4/13（土）、4/20（土）、4/27（土）、5/4（土）
 - ・むかしのおもちゃであそぼう（開館時間中のいつでも体験可能）
 - ・むかしの衣類を着てみよう（開館時間中のいつでも体験可能）
- ・展示解説会
 - ・4/27（土） 参加者 1人
 - ・講師 曾部珠世

・マスコミ取材

- ・FM PORT ラジオ生出演 4/11 (木) 出演 葛塚縞手織りの会、曾部珠世
- ・NHK 県内ニュース 4/29 (月・祝) 出演 葛塚縞手織りの会、曾部珠世



「昭和の暮らし展」展示風景



手織り体験の様子



FM PORT ラジオ生出演



「昭和の日」にちなみNHKの取材



「昭和の暮らし展」チラシ



「昭和の暮らし展」リーフレット (表紙と4頁)

(2) 所蔵作品展「人間はどこにいる？」

所蔵作品を公開する第2回展。美術・書作品12点を紹介し、それらの作品の世界を通して「人間」の存在とそのありようを見つめる。

- ・会期 6/1(土)～7/15(月・祝)
- ・入館者数 839人
- ・会場 ホール
- ・展示点数 12点(絵画7点 彫刻2点 版画1点 書2点)
- ・ポスター／チラシ A2・カラー／A4・片面カラー
- ・リーフレット A4 8頁・カラー
- ・作品鑑賞会
 - ・6/9(日) 参加者 19人
 - ・6/30(日) 参加者 12人
 - ・7/14(日) 参加者 10人
 - ・講師 神田直子



作品鑑賞会(6/9)の様子



作品鑑賞会(6/30)の様子



リーフレットの表紙



所蔵作品展のチラシ

(3) 第22回松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催。書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催した。今年度から新しい課題で出品を募った。出品点数は、昨年度より476点多い2,756点の応募があり、入賞作品229点を展示した。また、中学1年の課題「河童の沼」にちなんで、文学作品『河童のユウタの冒険』関連のパネルを展示した。

- ・会期 7/27(土)～8/25(日)
- ・入館者数 1,133人
- ・会場 ホール、集会室
- ・対象 新潟市内の小学校3年～中学生
- ・審査員 (五十音順) 伊豆名皓美 氏 (にいがた文化の記憶館 学芸員)
岡村 鉄琴 氏 (新潟大学教育学部 教授)
小黒 五稜 氏 (書家・新潟県書道協会顧問)
和泉 哲章 (新潟市教育委員会副参事)
- ・参加校
 - ・北区内 … 小学校12校・中学校6校
 - ・市内他区… 小学校 1校・中学校3校
 - ・書道教室… 9校
 - ・その他 … 個人出品
- ・出品点数 (点)

小3	460	中1	360
小4	602	中2	68
小5	445	中3	66
小6	439	教室・個人	316
合 計			2,756

- ・入賞者数 松蔭賞 7人 (各学年1人)
優秀賞 21人 (各学年3人)
特 選 70人 (各学年10人程度)
佳 作 131人 (各学年20人程度)



審査会



表彰式



書道展観覧風景



『河童のユウタの冒険』関連展示

新潟市内の小中学生の力作を集めた「松蔭賞書道展」が、同市北区の北区郷土博物館で開かれている。北区葛塚出身の書家・弦巻松蔭（1906～95年）にちなみ、書道に親しむき

小中学生の力作見て 北区で松蔭賞書道展

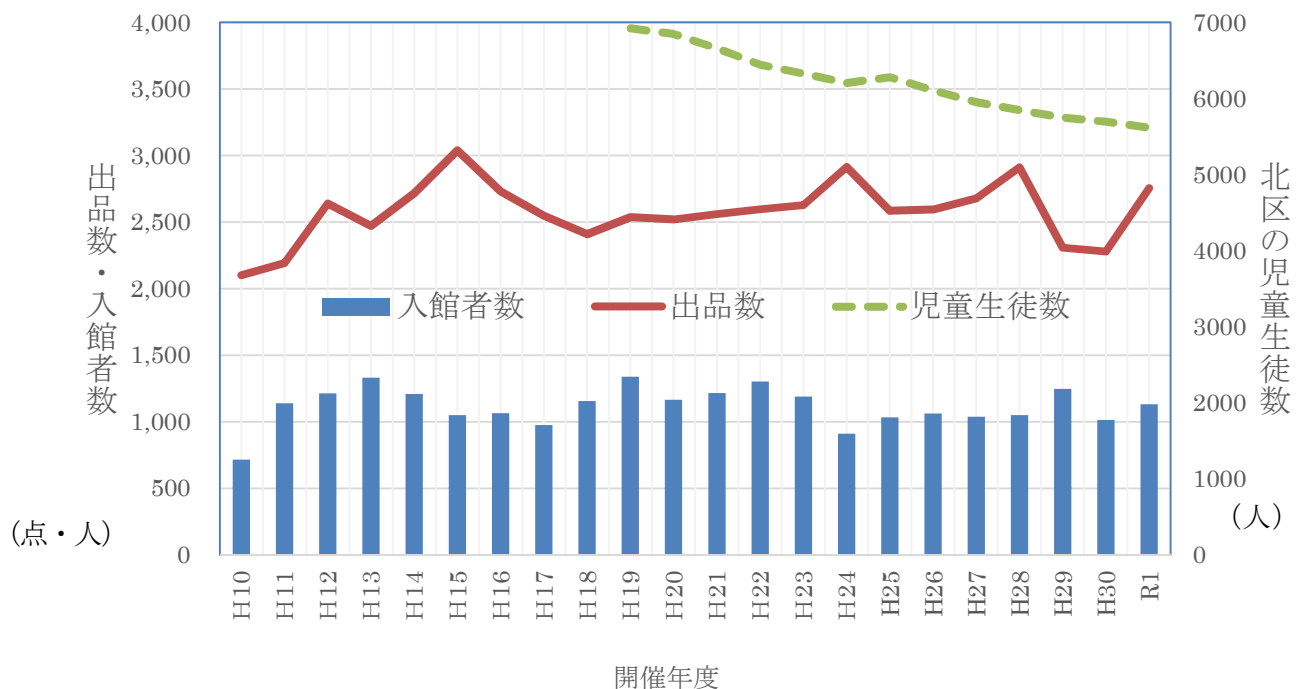
小中学生の力作が並ぶ松蔭賞書道展 新潟市北区

25日まで。午前9時～午後5時。19日休館。最高賞の松蔭賞は次の通り。小3 横山和奏（つくし書道教室）▽小4 波瀾千恵花（早通南書道教室）▽小5 小林莉子（早通南小）▽小6 五十嵐叶愛（つくし書道教室）▽中1 広瀬実音（松浜習字教室）▽中2 松尾優衣（早通中）▽中3 信田香乃（早通南書道教室）

つかけをつくらうと、同館が主催し22回目。小3から中3まで学年ごとに「つち」「鳥歌花舞」などの課題を設け、2756点の応募があった。書道の専門家らの審査で入選した229点が会場で展示されている。

新潟日報 8月15日

松蔭賞書道展 出品数と来館者数



(4) 第13回新潟市北区こども科学展

北区の小中学校の児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を発表・展示した。昨年度より、41点多い237点の出品があり、最優秀賞3人、優秀賞12人を選出した。また、今年度から部門を変更して、「自然科学写真の部」を「観察・実験の部」とした。

- ・9/21(土)～10/14(月・祝)
- ・入館者数 1,319人
- ・対象 北区内の小・中学生
- ・審査員 永井 一哉 (新潟市立濁川中学校長)
桑原 通泰 (新潟市立豊栄南小学校長)
今井 真悟 (新潟市北区教育支援センター 指導主事)
参宮 直樹 (新潟市北区副区長/北区地域総務課長)
木村 隆行 (当館館長)
- ・参加校 北区内小学校 12校
- ・出品点数 (出品者数) …237点 (237人)
 - 【模型の部】 …116点 (115人)
 - 【標本の部】 …16点 (16人)
 - 【発明工夫の部】 …14点 (14人)
 - 【観察・実験の部】 …91点 (92人)



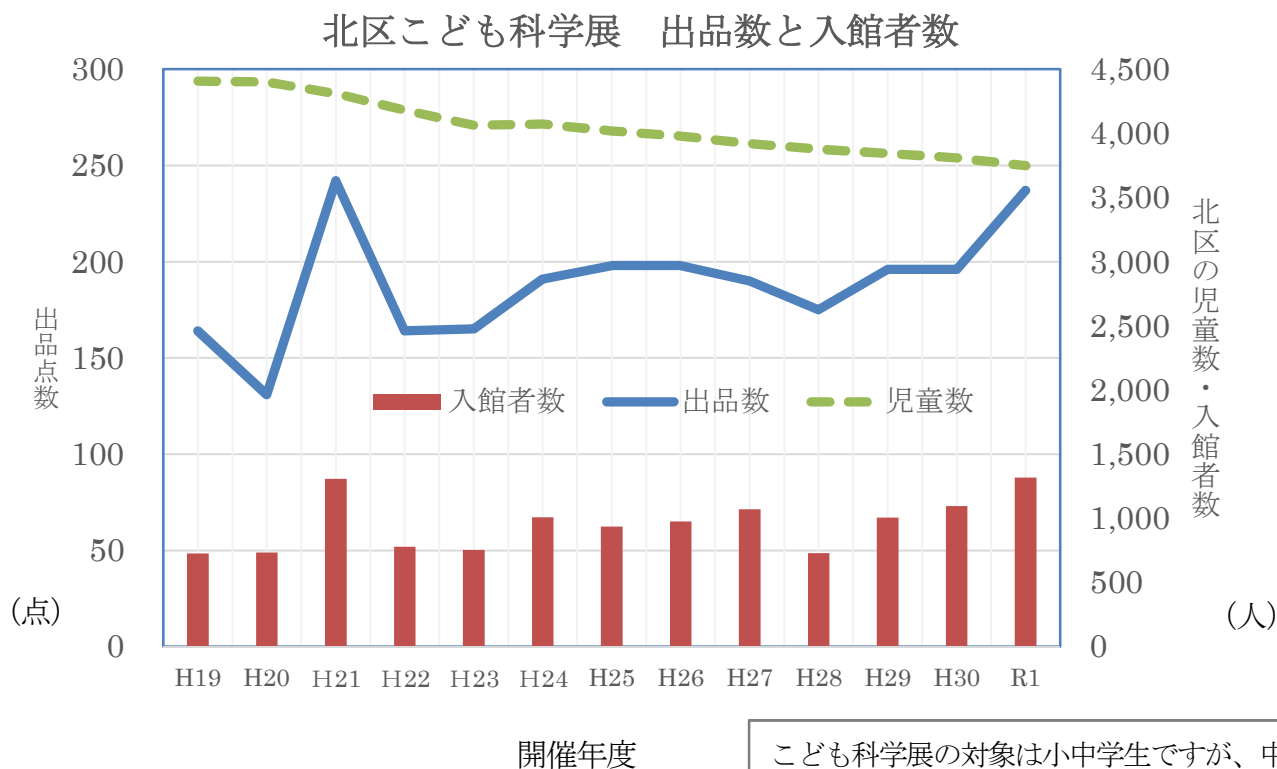
こども科学展観覧風景1



こども科学展観覧風景2



審査会



こども科学展の対象は小中学生ですが、中学生の出品が少ないのでグラフでは参考に児童数を記載しています。目盛りは右が児童数と入館者数です。

Ⅲ 普及事業（講座・教室、レファレンス等）

1 夏休み はくぶつかん体験コーナー

見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。特色ある区づくり事業「公共施設利用促進バス事業」（担当：北区地域総務課）に伴い開催。

大きな紙で折り紙を体験する「大きな折り紙で遊ぼう」、北区のお宝マップを活用した「北区パズル」、漢字の成り立ちを学べる「金文クイズ」、昔の農作業着の着用体験ができる「野良着を着てみよう」を実施。

- ・開催期間 7/27（土）～8/18（日）
- ・参加者数 延べ942人（うち葛塚東小学校ひまわりクラブ利用120人）
- ・協力 北区郷土博物館市民ガイド



大きな折り紙で遊ぼう風景



野良着を着てみよう体験風景



金文クイズに挑戦

2 ふるさと学習

(1) 一般の団体見学

- ・新発田市豊浦地区公民館ふるさと歴史講座（福島潟周辺の水とのたたかい、水のめぐみを中心に展示見学）

8/27（水） 20人

講師 曾部珠世、市民ガイド1人

(2) 学校教育としての見学

- ・葛塚東小学校2年生生活科「わたしの町大すき」について

9/26（木） 3人

講師 木村隆行



常設展示室の漁具を見る葛塚東小2年

3 レファレンス

- (1) 市民の郷土史学習サポート・資料調査協力、郷土史関連図書の見覧
- (2) 他の博物館や大学など研究機関への協力

4 刊行物の販売

当館の有償刊行物のリストを、表紙イメージ入りでホームページに掲載(通年)。

IV 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）活動

1 市民ガイド研修

市民ガイド等のスキルアップと情報の共有を図る。

(1) 「古代の阿賀北ー北方社会との接点を探るー」講演会の聴講

- ・開催日 5/19（日）
- ・場 所 新潟市文化財センター
- ・内 容 企画展「砂丘と遺跡Ⅲー阿賀北の砂丘上の遺跡ー」
「古代の阿賀北ー北方社会との接点をさぐるー」講演会（講師 加藤学 福島県教育庁文化財課）と展示説明会（講師 遠藤恭雄学芸員、今井さやか文化財専門員）に参加



企画展説明会



企画展説明会 2

(2) 企画展研修と意見交換会

- ・開催日 6/30（日）
- ・研修場所 北区郷土博物館
- ・内容 「所蔵作品展 人間はどこにいる？」市民ガイド向け研修と平成30年度のガイド実績報告、ガイドを行う上での課題などの意見交換会



市民ガイド向け研修

2 市民ガイドの活動実績 (R1. 4/1~10/14)

- ・一般団体対応 3回 見学者 76人、市民ガイドのべ7人
尾山団地 喜楽会 1回 36人
阿賀町公民館講座 寿大学 1回 20人
豊浦地区公民館ふるさと歴史講座 1回 20人
- ・個人対応（昭和の暮らし展、こども科学展会期中の土日祝に待機）22回、見学者のべ381人 市民ガイドのべ52人

V 他機関・他施設の事業および調査研究への協力

1 博物館実習、体験学習等受け入れ

(1) 博物館学芸員養成課程履修の実習受け入れ

- ・新潟大学4年生 2人
- ・8/22(木)~8/30(金)7日間



松蔭賞書道展 展示撤収作業

(2) 中学生職場体験

- ・新潟市立光晴中学校2年生 2人
- ・7/2(火)~7/4(木)3日間



文化財等説明板の点検と清掃



夏休みはくぶつかん体験コーナー

2 講師派遣等

(1) 「美術館に係るミュージアム学習会」での講演

- ・主催 阿賀北美術協会
- ・6/15(土) 午後1時30分~午後3時30分
- ・会場 新発田市生涯学習センター

- ・参加者 80名
- ・講演テーマ 「わたしたちの美術館」のかたち
- ・講師 神田直子

(2) 「とよさか中高年教養大学・一般教養講座」での講演

- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・開催日 8/10(土) 午後1時30分～午後3時30分
- ・会場 葛塚コミュニティセンター研修室
- ・参加者 40人
- ・講演テーマ「美術鑑賞 名画をめぐって」
- ・講師 神田直子

(3) 新発田市豊浦地区公民館ふるさと歴史講座

- ・主催 新発田市豊浦地区公民館
- ・8/20(火) 午後1時30分～午後3時30分
「福島潟と人々の暮らし」(豊浦地区公民館)
- ・8/27(火) 午後1時30分～午後3時30分
「新潟市北区郷土博物館見学会」(北区郷土博物館)(再掲)
- ・参加者 30名
- ・講師 曾部 珠世



北区郷土博物館見学風景

参加者募集！！

福島潟と歴史図書館

福島潟と人との関わりや歴史を調査・見学で学びませんか？新発田市北区郷土博物館学芸員の曾部珠世さんと「新潟県 県民性の歴史」、「新潟県 県民性人物史」の著者でもある新潟大学特任教授 伊藤充さんの講演は必見です！！

また昨年、旧新発田市立図書館をリニューアルした「歴史図書館」の見学会もあわせて、たくさんご参加お待ちしております。



令和元年度ふるさと歴史講座 全4回

第1回 8月20日(火) 13時30分～15時30分	
・「福島潟と人々の暮らし」 新潟市北区郷土博物館 学芸員 曾部 珠世 さん 会場：豊浦地区公民館 視聴覚室	
第2回 8月27日(火) 13時30分～15時30分	
・「新潟市北区郷土博物館」見学会 会場：新潟市北区郷土博物館に現地集合	
第3回 9月 3日(火) 13時30分～15時30分	
・「福島潟の歴史」 新潟大学特任教授 伊藤 充 さん 会場：豊浦地区公民館 視聴覚室	
第4回 9月10日(火) 13時30分～15時00分	
・「新発田市歴史図書館」見学会 会場：新発田市歴史図書館に現地集合	

参加費無料 どなたでも参加できます。

申込方法：電話、または直接豊浦地区公民館までお越しください。
 申込開始：7月24日(水)

【申込先】新発田市乙次26番地2
 豊浦地区公民館 TEL 22-2081

豊浦地区公民館 参加者募集チラシ

(4) 木崎小学校総合学習「木崎地域ってどんなところ？」への出前授業

- ・7/4(木) 午前9時30分～午前10時30分
- ・会場 新潟市立木崎小学校

- ・参加者 木崎小学校3年生59人、笹山小学校3年生13人
- ・講師 木村隆行

(5) 高志中等教育学校「総合的な学習の時間」への出席

- ・6/27(木)
- ・北区役所第2会議室にて、北区地域総務課(企画広報Gと北区郷土博物館)、産業振興課(商工観光係)が説明、インタビューを受ける。
- ・参加者 10人(生徒)
- ・出席 木村隆行

(6) 「にいがたデジコングランプリ2019」における審査員の受嘱

- ・受嘱期間 7月～11月(審査は9月末まで)
- ・主催 特定非営利活動法人 にいがたデジタルコンテンツ推進協議会
- ・審査受嘱職員 神田直子

3 その他の事業協力

(1) 豊栄地区公民館主催「近所だんぎ」へ昔のおもちゃ貸し出し

- ・4/11(木)

(2) 長浦コミュニティ委員長浦文化教育事業についての情報提供、講師紹介

- ・5/29(木)

(3) ビュー福島潟のパネル作製への資料提供

- ・7月

(4) 豊栄図書館の文化講座関連パネル展示へ『河童のユウタの冒険』関連パネル貸し出し

- ・9月～12月

(5) 美術作品集荷作業の指導

- ・7/10(水) 午前9時30分～正午
- ・会場 新発田市豊浦庁舎、新発田市内
- ・内容 「新発田の女性作家たち展(仮称)」事前集荷作業
- ・講師 神田直子

VI 所蔵資料調査研究・保存

資料整理作業(4月～6月)

(1) 歴史資料の再整理

- ・資料名 市指定文化財「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書
- ・作業日数 延べ4日

VII 北区の文化財保護事業(指定文化財ほか)

公開・活用

(1) 新潟市歴史博物館へ市指定文化財「木崎小作争議関係資料」のうち3点を貸し出し

- ・期間 前年度3/7(木)～6/20(木)

- (2) 新潟市文化財センターへ市指定文化財「上黒山遺跡出土品」のうち5点、ほか考古資料281点、写真資料等を貸し出し
 - ・期間 4/7(日)～8/6(火)
- (3) 島根県立古代出雲歴史博物館へ考古資料(畠山佑ニコレクション珠洲焼壺)1点を貸し出し
 - ・期間 6/19(水)～9/19(木)
- (4) 新潟市歴史博物館へ葛塚竊関係資料3点を貸し出し
 - ・期間 6/19(水)～9/19(木)
- (5) 長浦コミュニティセンター 長浦郷土史講座(講師 宮崎芳春)へ民俗資料1点と城ノ潟遺跡出土品39点貸し出し
 - ・期間 10/4(金)
- (6) 文化財等説明板の点検・修理
 - ・点検 18件
 - ・板面修繕 2件(新崎の歴史と諏訪神社、新崎に残る新井郷川の川跡)
 - ・塗装 2件
- (7) 文化財等説明板にQRコードを追加

区内57か所に設置してある文化財等説明板にQRコードを追加し始める。スマートフォンでQRコードを読むと、冊子『ガイドブック北区のお宝ものがたり』の該当ページをダウンロードして詳しい説明や地図を見ることができる。9月末現在18か所に付けてある。今後、さらに増やしていく。

新崎の歴史と諏訪神社

新崎の開発について、新発田藩の記録には1558(永禄元)年とあります。また、「新崎御碑」という石碑には、「古山・井上・高橋・土田・佐藤・伊藤・豊崎の新崎七軒衆が永正～天文(1504～55)の間にこの地に移り、村を作った」と刻まれています。詳細は不明ですが、地元では、村の始まりを500年以上前と伝えています。

諏訪神社は、1576(天正4)年創立であると、明治時代に作成された「神社寺院仏堂明細帳」に記されています。現在は流路が変わり阿賀野川となっている場所に、諏訪木という場所があり、最初はその地に神社があったようですが、1768(明和5)年に高台の現在地に移ったと伝わっています。祭神は建御名方命と、その後に迎え祀った豊受姫命、日本武尊の3神です。

境内には、火難除けの神「古峰ヶ原様」を祀る祠(社殿前の玉垣に囲まれた祠)など、さまざまな石造物もあります。また、春4月9日と秋8月27日の祭礼では、新崎伊佐弥神楽の舞が奉納されています。


なお、新崎御碑は1890(明治23)年、古山文静が自邸内(太古山日長堂)に建てた碑です。明治天皇が巡幸の際に休憩された古山家の旧屋敷は、この通り(旧国道7号)沿いにあり、主屋と仏蔵は国の登録文化財です(非公開)。

2019(令和元)年8月

新潟市北区郷土博物館
☎025-386-1081

詳しくはQRコードで「ガイドブック 北区のお宝ものがたり」をダウンロードできます。
(PDFダウンロードはこちら)





○ 令和元年度入館状況

月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	横井の丘ふるさと 資料館入館者数 (人)	主 な 行 事
4月	698		昭和のくらし展-「着る」にまつわる道具たち (1/4~5/19)
5月	527		昭和のくらし展-「着る」にまつわる道具たち (1/4~5/19) のべ2,692人
6月	589		所蔵作品公開「人間はどこにいる？」 (6/1~7/15)
7月	606		所蔵作品公開「人間はどこにいる？」 (6/1~7/15) のべ839人 第22回松蔭賞書道展 (7/27~8/25)
8月	1,003		第22回松蔭賞書道展 (7/27~8/25) のべ1,133人 夏休み はくぶつかん体験コーナー (7/28~8/18) のべ942人
9月	1,048		第13回北区こども科学展 (9/21~10/14)
10月	530		第13回北区こども科学展 (9/21~10/14) のべ1,319人
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計	5,001		

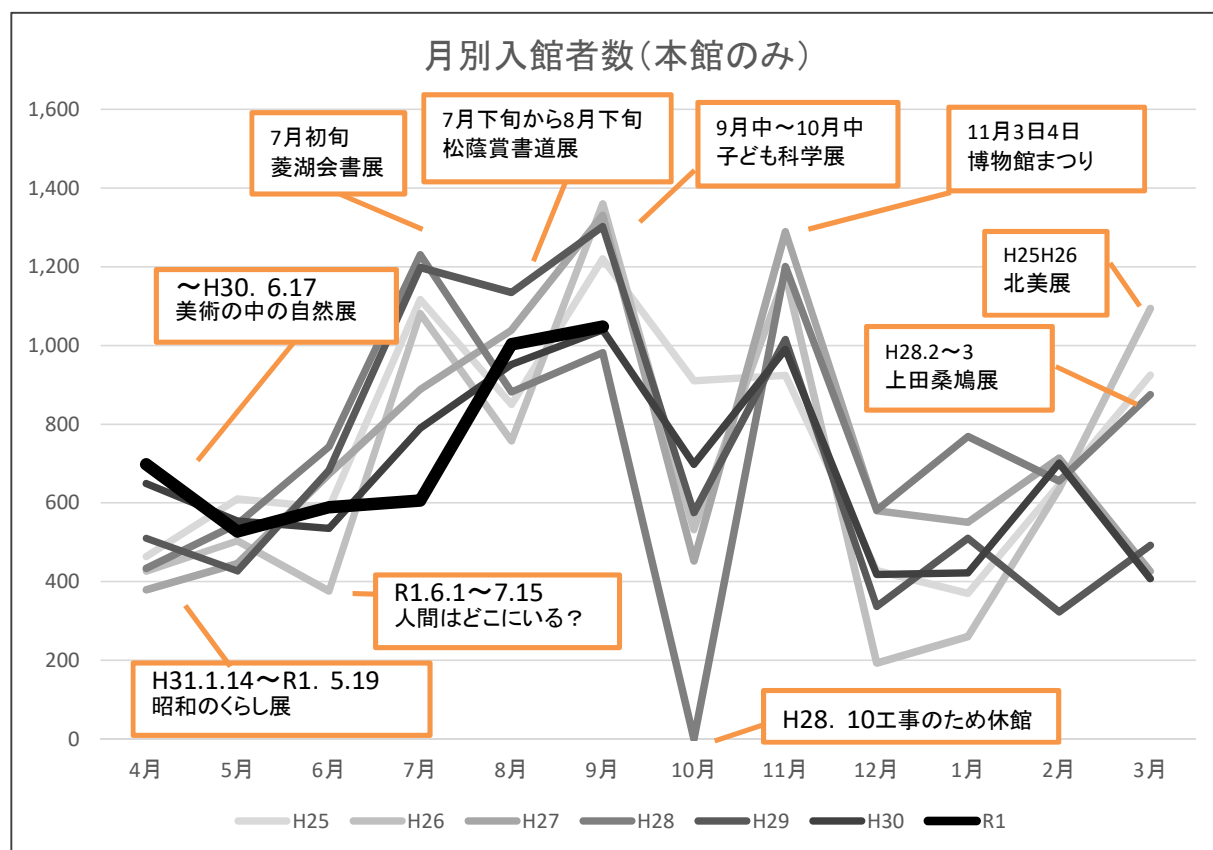
- ・「入館者数」は館内に入場した人数であり、展覧会観覧者数や事業参加者数の合計とは異なります。
- ・横井の丘ふるさと資料館は現在休館中。
- ・10月14日までの入館者数。

月別入館者数調べ(本館のみ)

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	四半期 R1/H30
4月	464	426	379	434	510	649	698	104.4%
5月	610	504	446	547	427	554	527	
6月	587	376	674	743	683	535	589	
7月	1,117	1,081	888	1,231	1,198	790	606	95.5%
8月	850	757	1,039	882	1,135	952	1,003	
9月	1,220	1,360	1,331	982	1,302	1,040	1,048	
10月	910	532	452	0	575	698		0.0%
11月	924	1,181	1,289	1,201	1,015	990		
12月	428	193	580	582	337	418		
1月	370	260	551	769	510	422		0.0%
2月	647	635	714	656	323	701		
3月	925	1,094	426	875	492	408		
合計	9,052	8,399	8,769	8,902	8,507	8,157		

R1.10月の数値は、10月23日までの入館者数



○令和元年度 後期事業計画

I 特色ある区づくり事業（郷土芸能伝承支援事業）

- (1) 郷土芸能伝承支援のために郷土芸能記録をデジタル化
- (2) 市指定無形民俗文化財郷土芸能の記録のデジタル化
- (3) 北区の郷土芸能伝承支援

- ・博物館まつり（11/3、4での催し物を通し、市民に郷土芸能に親しんでもらう。
- ・郷土芸能発表会（計16団体）
- ・神楽のお頭を被る体験（お頭は他門神楽保存会より寄贈）
- ・祭りの横笛と太鼓の体験をして郷土芸能に親しんでもらう。

II 開館50周年（2018）記念誌の発行

『開館50周年記念 新潟市北区郷土博物館 年報・紀要（2009.4—2019.3）』

- ・第一部 活動の記録編（博物館事業、文化財保護活用事業、区づくり事業）
- ・第二部 資料編
- ・第三部 紀要（論文・事業報告）
 - (1) 歴史文書の整理
 - (2) 遠藤七郎と北辰隊（仮）
 - (3) 北区の郷土芸能（神楽の伝承支援）
 - (4) 弦巻松蔭 模索と創作の軌跡

III 展示活動

1 常設展示

2 企画展

(1) 「みると使う アートと道具のはざま展」

- ・会期 11/16(土)～12/15(日)
- ・民具、家具などの実用品や、用の美を探求した工芸作品と共に、日常を超えた世界を開くアートを展示します。
- ・作品鑑賞会
 - ・11/17(日)、12月8日(日)
 - ・両日ともに午後1時30分～
- ・講師 神田直子

(2) 常設展拡大企画「昭和のくらし展4」

- ・今では使われなくなった道具から、昔の生活人々の知恵を紹介する企画の第4回展。体験コーナーを設置。
- ・会期 R2.1/4(土)～5/17(日)

IV 普及事業（講座・教室、レファレンス）等

1 第29回博物館まつり

- ・11/2(土)～11/4(月・休)
- ・見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーなどを通して伝統文化を学ぶ。
- ・豊栄高校書道部パフォーマンス、郷土芸能発表会、横笛と太鼓で祭りばやし体験
神楽のお頭をかぶってみよう、葛塚縞手織りの実演・体験、ワラ細工作り、消しゴムハンコ作り、チャリティー骨董市

2 市民ガイド研修

- ・市民ガイドのスキルアップと情報の共有を図る。

3 ふるさと学習

学校教育や地域などと連携し、博物館資料の紹介や、展示見学の利用を図る。

- (1) 学校教育としての見学対応
- (2) 市民ガイド団体及び個人への案内

4 レファレンス

- ・郷土史関連図書の閲覧、市民の郷土史学習相談・資料調査への協力
- ・博物館や大学など研究機関への協力

5 郷土資料収蔵庫の管理運営

- ・収蔵資料、寄贈資料の燻蒸（10/21～25）、環境整備・虫の侵入防止・空調管理
- ・民俗資料整理作業（台帳化、配架）

6 刊行物の販売

V 北区文化財保護事業

(1) 歴史、民俗資料等 整理事業

前期からの継続

寄贈資料・収蔵資料の燻蒸 10/21（月）～10/25（金）

(2) 郷土芸能 公開・活用

- ・「第29回博物館まつり」郷土芸能発表会（再掲）
北区の神楽・太鼓・盆踊りなど16団体が出演予定
- ・11/3(日・祝)～11/4(月・休)